

『さっきゃま魂』

R4. 11.9 第11号

発行人：校長 中山 未永

ステージでも輝く子ども達！

昨日、五島市小中学校音楽発表会が3年ぶりに開催されました。感染対策のため、様々な制限がある中でのステージでしたが、子ども達にはたくさんの収穫があったと思っています。

3年生以上が参加しましたが、全員が初めての音楽発表会でした。緊張やわくわくした気持ちがあったのか、いつもより早めの笑顔の登校だったように感じました。

「崎山小学校のみなさん お願いします」とアナウンスがあり、いよいよ本校の出番です。3番目の出演ということもあり、しっかり心の準備をしてステージに上がることができたようです。

まずは、「すてきな一歩」の合唱、毎日毎日、何度も歌っていたので、気持ちよくのびのびと歌うことができました。体でリズムをとりながら、生き生きと歌っている子ども達の姿から、歌うことの楽しさが十分に伝わってきました。

次は、「さんぽ」の合奏、昼休みの音楽室や体育館からは、毎日のように練習の音が聞こえてくるなど、より良い合奏を目指し、個別練習にもしっかり取り組んできました。本番でも、軽快なリズムにのった音色が会場いっぱいに響き渡り、みんなに元気を届けているようにも感じました。

いつもとは違った環境の中で、練習の成果を100%発揮できたことは、子ども達の大きな自信につながったと思います。地道な努力が報われ「達成感」を味わうことができた素敵なステージでした。

演奏以外に嬉しかったことが「鑑賞態度」です。3校の演奏を聴きましたが、身を乗り出して聴き入る子ども、体でリズムを取りながら音楽を楽しむ子ども、いろんな聴き方がありますが、全員が他校の発表を真剣に聴くことができていました。頑張っている仲間を応援する気持ちが伝わってきて、とても清々しく感じました。

今回の演奏の様子は、後日、ケーブルテレビで放送されることになっています。また、27日の「学習発表会」でも披露します。

子ども達の努力が詰まった精一杯の演奏を楽しみにして下さい。



運動場に、たくさんの笑顔

月曜日の昼休み、6年生の計画で「全校遊び」がありました。普段は、それぞれサッカーや縄跳びを楽しんでいますが、久しぶりに全校児童が集まって「けいどろ（鬼ごっこ）」をすることになり、始まる前から子ども達はやる気満々でした。

いざ遊びがスタートすると、笑顔で泥棒をおいかける警察（鬼役）、「きゃ〜」と叫び声を上げながら必死に逃げまわる泥棒、運動場いっぱいに子ども達の歓声と笑顔が広がっていきました。



昼休みは、子どもが自由に使える時間ですが、時にはみんなで遊ぶのもいいなと思いました。

みんなで遊ぶことの楽しさ・体を動かすことの楽しさをたくさん経験することによって、子ども達の心も体も、よりたくましく成長するのではと感じています。